

G7原子力安全セキュリティ・グループ（NSSG）報告書 （概要）

1 チェルノブイリ・プロジェクト

新シェルター及び使用済燃料中間貯蔵施設を含むチェルノブイリ・プロジェクトの完成に向けた進捗や、ウクライナへのこれら施設の引き渡しについての進捗をフォローしていく。

2 原子力安全及び核セキュリティの法的枠組み

原子力安全及び核セキュリティに関する国際的な法的枠組み及び条約の普遍化と履行を積極的に支援し、核物質防護条約及び同改正並びに核テロ防止条約の普遍化と履行の促進に焦点をあてた働きかけを2018年に行う。

3 新規原発導入国における原子力安全、核セキュリティ及び保障措置の強化

新規原発導入国の最高水準の原子力安全及び核セキュリティを支援する中で、ベストプラクティスや経験の共有等を通じ、NSSGが役割を果たす方法を検討する。

4 透明性と信頼醸成措置

将来起こり得る原子力関連の事象が発生した際の国際協力や透明性をいかに向上させることができるかについて意見交換を行うため、2018年にワークショップを開催することについて支援する。

5 サイバー・セキュリティ

原子力関連のサイバー・セキュリティについて、G7間でより緊密な協力を促進する。

6 原子力安全、核セキュリティ及び不拡散への産業界の関わり

国内政策、IAEAの基準及びガイダンス、OECD/NEAのベスト・プラクティスの策定における原子力産業界の視点を考慮に入れるため、原子力産業界とのより緊密な協力と対話に向けた取組を行う。

7 原子力安全と核セキュリティにおけるジェンダー平等と公平

原子力関連の行事にジェンダーバランスが取れた形で参加することを支援し、より多くの女性の原子力分野への参加の障壁となっているものを特定し、対処する取組を支援することを通じて、原子力安全と核セキュリティにおけるジェンダー平等を向上させる。

8 他のG7ワーキング・グループとの調整

G7不拡散局長級会合（NPDG）やグローバル・パートナーシップの核・放射線セキュリティ・サブワーキング・グループ（NRSWG）の双方と協働し、共通の目標を前進させるために取り得る行動について確認する。

（了）